

## おくすりQ&A

### 骨粗鬆症のお薬SERMについて教えてください。

骨粗鬆症のお薬には、ビスホスホネート製剤、活性型ビタミンD3製剤、女性ホルモン製剤、SERMなどがあります。今回はそのひとつ、SERMについてお話しします。

#### Q. SERMってなんですか？

A. SERMとは、**選択的エストロゲン受容体モジュレーター**の略称です。SERMは、骨に対してはエストロゲン様作用を示して**骨吸収（骨の破壊）を抑制**します。一方、乳腺や子宮内膜に対してはエストロゲンの好ましくない作用を示さないため、**乳癌のリスクや子宮内膜への影響が少ない**と言われています。現在日本では、**エビスタ**（ラロキシフェン）と**ビビアント**（バゼドキシフェン）が発売されています。

#### Q. 飲み方は？

A. **通常1日1回の服用**です。ビスホスホネート製剤のように食事の影響を受けないので、**時間を気にせずに飲む**ことができます。

#### Q. 誰でも服用できますか？

A. **血栓の副作用がある**ので、**静脈血栓塞栓症の方**、その既往のある方、入院などで**長期間歩行ができない方**は通常服用することができません。その他、**妊婦または妊娠している可能性のある方**も服用することができません。

#### Q. どんな副作用がありますか？

A. 主な副作用に、**血管拡張によるほてり**があります。また、重大な副作用として**静脈血栓塞栓症**があげられます。その具体的な症状は、**下肢の痛みやむくみ、激しい頭痛、胸痛、目が見えにくい、息切れ**などです。SERMを服用してこのような症状が現れた場合は、**主治医に連絡する**などの注意が必要です。

骨粗鬆症には、食生活などの生活習慣も大きく関係しています。**骨粗鬆症の予防**については第194号の「**ちょっとお耳を……**」でご紹介していますので、そちらもご覧ください。

執筆薬剤師 宮腰 智恵子

# わたらの健康とくすり

第195号



#### 今月の内容

- 平成24年4月からの調剤報酬の改定について
- 紫外線の浴びすぎにご注意を!!
- 骨粗鬆症のお薬SERMについて教えてください

#### ヤマザクラ（バラ科）

東京のサクラの名所のサクラはほとんどが園芸種のソメイヨシノですが、郊外の雑木林や山で最も普通に見られる野生のサクラはヤマザクラです。高さ 20~30m、幹の直径は 1m にも達します。花は葉の展開と同時に開きますが、この頃の若葉は赤褐色です。樹皮はかつて蕁麻疹の薬として、現在でも咳止め薬として使われています。

写真・文 指田 豊

2012年4月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹

東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

## 平成24年4月からの調剤報酬の改定について

政府により診療報酬等の見直しが行われ、H24年4月から調剤報酬の点数と薬価（医薬品公定価格）が変更になりました。

### 【後発医薬品調剤体制加算】

後発医薬品を調剤した数量の割合と点数が変更になりました。

改定前		改定後
数量が20%以上：6点	→	数量が22%以上：5点
数量が25%以上：13点		数量が30%以上：15点
数量が30%以上：17点		数量が35%以上：19点

### 【後発医薬品調剤加算】

後発医薬品を調剤した場合に加算されていましたが、廃止になりました。

改定前		改定後
後発医薬品を調剤した場合、1調剤につき2点	→	廃止

### 【後発医薬品情報提供料】

後発医薬品に関する主な情報を文書で提供した場合に加算されていましたが、廃止になりました。

改定前		改定後
処方せん受付1回につき10点	→	廃止

### 【薬剤服用歴管理指導料】

薬剤服用歴管理指導料の算定要件に、お薬手帳を用いた情報提供、残薬の有無の確認、後発医薬品に関する情報提供が追加され、点数が変更されました。

改定前		改定後
30点	→	41点

### 【薬剤情報提供料】

お薬手帳を確認し、お薬の情報を手帳に記載した場合に算定されていましたが、廃止になりました。

改定前		改定後
15点	→	廃止

### 【乳幼児服薬指導加算】

今回の改定で新しく設立されました。

6歳未満の乳幼児が安全に、服用しやすいように指導を行い、その指導内容を手帳に記載した場合：5点
---

### 【在宅患者調剤加算】

在宅業務を推進するため、今回の改定で新しく設立されました。

過去の実績も考慮した施設基準を満たす薬局が、在宅患者向けに調剤した場合：15点
---

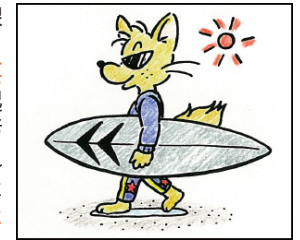
その他の点数については、待合室の掲示をご覧ください。ご不明な点がございましたら、職員までお尋ね下さい。

執筆薬剤師 宮腰 智恵子

ちょっとお耳を……

紫外線の浴びすぎにご注意を!!

ビタミンDは食物や薬から取り込む以外に、紫外線が皮膚に当たることで、体内でも作ることができます。適度な日光浴は丈夫な骨を維持するために必要です。しかし、過度に紫外線を浴びると日焼けを起こし、やがてシミやしわの原因となります。大気汚染防止法の制定によって、以前に比べて大気はきれいになりました。つまり、大気汚染物質が減少した分、より多くの紫外線が地上へ到達しやすくなったともいえます。



紫外線が健康に与えるダメージ

- ・急性障害…日焼け、紫外線角膜炎（雪目）、免疫機能低下など
- ・慢性障害…光老化現象（シミやしわ）、皮膚癌、翼状片、白内障など

そこで、環境省が作成した『紫外線環境保健マニュアル2008』より、紫外線の予防策をご紹介します。

### 【紫外線の強い時間帯を避ける】

午前10時～午後2時の間に、夏では1日のおよそ60%、冬ではおよそ70%の紫外線を浴びることになります。できるだけこの時間帯を避けて外出するようにしましょう。

### 【日陰を利用する】

日陰を選びましょう。ただし、日陰でも日向の約50%の紫外線が届いていますので、直接光が当たらなくても常に紫外線を浴びているということを忘れないようにしましょう。

### 【日傘を使う、帽子をかぶる】

帽子の着用で直接光は約20%カットできますし、日傘も効果的です。しかし、どちらも散乱光や反射光は防ぐことができません。

### 【衣服で覆う】

できるだけ肌の露出を抑えた服装で、UVカット機能が備わった素材を選びましょう。

### 【サングラスをかける】

UVカット機能が備わったサングラスの着用で、眼の角膜へ届く紫外線を、約90%カットできます。ただし、真横から入る陽射しもありますので、顔をしっかりと覆うデザインを選びましょう。

### 【日焼け止めを上手に使う】

屋外でのレジャー、スポーツ、海水浴には耐水性で紫外線防止効果の高いものを選びましょう。日常生活レベルでは、それほど数値が高くないものでも十分です。

屋外で活動する機会が多いこの時期、大人も子供も、正しい知識を持って紫外線の浴びすぎにご注意しましょう。

執筆薬剤師 築瀬 麻由